

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 エコミック
 コード番号 3802 URL <http://www.ecomic.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
 (氏名) 熊谷 浩二
 (氏名) 荒谷 努
 TEL 011-742-6295

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	466	—	△32	—	△32	—	△24	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △22百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△6,111.53	—
25年3月期第3四半期	—	—

(注) 26年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、25年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	423	377	89.3	95,912.83
25年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 377百万円 25年3月期 —百万円

(注) 26年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、25年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600	—	30	—	30	—	16	—	4,062.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第3四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、26年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 栄光信息技术(青島)有限公司、除外 1社 (社名)
 (注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	3,938 株	25年3月期	3,938 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	3,938 株	25年3月期3Q	3,408 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用情勢は改善し、緩やかに景気回復しつつあります。また、今後は海外景気の下振れリスクや消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があるものの、各種政策効果の発現、家計所得や投資の増加により景気回復の動きが確かなものとなることが期待されます。

当業界におきましては、このような状況下、依然として企業の効率化、省力化への動向は継続しており、今後、事業再構築の手段として、または災害等のリスク回避の手段としてアウトソーシングのニーズはより一層高まっていくと考えております。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業内からの個人情報漏洩への対策等企業リスクの観点から、給与計算アウトソーシングの提案を行ってまいりました。同時に給与計算に付随するシステム開発という付加価値サービスの提案を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績については、売上高は466,465千円、営業損失は32,629千円、経常損失は32,130千円、四半期純損失につきましては、24,067千円となりました。

当社グループはペイロール事業の単一セグメントであるため、セグメント区分を行っておりません。この単一セグメントであるペイロール事業の業績は次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間については、前事業年度に引き続き既存顧客との関係強化を行うとともに、主に首都圏・関西圏での積極的な営業活動に取り組んでまいりました。これにより、給与計算業務では新規顧客を35社獲得しました。また、景気回復に伴い年末調整業務の受注が好調に推移したため、業務未完了のものを含め年末調整処理人数は300千人程度となる予定であります。その一方で、年末調整業務の業務量の増加により人件費が増大いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間のペイロール事業の売上高は466,465千円、売上総利益は92,173千円となりました。

なお、当社は平成25年5月、日本での現在及び将来のアウトソーシングサービスの事務作業量拡大に対応すること及び中国を将来的に新たなマーケットとして開拓することを目的として、中国山東省青島市に100%子会社の栄光信息技术（青島）有限公司を設立いたしました。当第3四半期連結累計期間では、当社で受注した年末調整業務の一部を栄光信息技术（青島）有限公司にて実施しました。

また、第17期第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は356,133千円となりました。主な内訳は現金及び預金132,434千円、売掛金206,101千円、繰延税金資産11,638千円であります。固定資産は66,928千円となりました。主な内訳は有形固定資産19,202千円、無形固定資産35,633千円であります。

この結果、総資産は423,061千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は45,178千円となりました。主な内訳は買掛金20,829千円、未払金4,656千円、その他の流動負債19,692千円であります。

この結果、負債合計は45,356千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は377,704千円となりました。主な内訳は資本金243,120千円、資本剰余金78,096千円、利益剰余金54,885千円であります。

この結果、自己資本比率は89.3%となりました。

なお、第17期第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月12日に発表しました平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第17期第1四半期連結累計期間において、栄光信息技术(青島)有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成25年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	132,434
売掛金	206,101
繰延税金資産	11,638
その他	7,836
貸倒引当金	△1,878
流動資産合計	356,133
固定資産	
有形固定資産	
工具、器具及び備品（純額）	15,675
その他（純額）	3,526
有形固定資産合計	19,202
無形固定資産	
ソフトウェア	35,196
その他	436
無形固定資産合計	35,633
投資その他の資産	
投資有価証券	6,409
その他	5,683
投資その他の資産合計	12,092
固定資産合計	66,928
資産合計	423,061
負債の部	
流動負債	
買掛金	20,829
未払金	4,656
その他	19,692
流動負債合計	45,178
固定負債	
繰延税金負債	178
固定負債合計	178
負債合計	45,356

（単位：千円）

当第3四半期連結会計期間
（平成25年12月31日）

純資産の部	
株主資本	
資本金	243,120
資本剰余金	78,096
利益剰余金	54,885
株主資本合計	376,102
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	327
為替換算調整勘定	1,274
その他の包括利益累計額合計	1,602
純資産合計	377,704
負債純資産合計	423,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	466,465
売上原価	374,292
売上総利益	92,173
販売費及び一般管理費	124,802
営業損失(△)	△32,629
営業外収益	
受取利息	132
業務受託手数料	641
その他	366
営業外収益合計	1,141
営業外費用	
為替差損	642
営業外費用合計	642
経常損失(△)	△32,130
特別損失	
受託業務補償負担金	2,194
特別損失合計	2,194
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,324
法人税等	△10,257
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,067
四半期純損失(△)	△24,067

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

		当第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）		△24,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		323
為替換算調整勘定		1,274
その他の包括利益合計		1,598
四半期包括利益		△22,469
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益		△22,469
少数株主に係る四半期包括利益		—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。